

○ また、国葬儀に併せて必要になる警備費や接遇費等その他の経費については、過去の内閣・自民党合同葬等においても、既定予算で対応してきたところ、今回も同様に、既に成立している今年度予算の中で、既定予算として対応することとしています。これまで、国が関与した葬儀に関して、既定経費で支出する警備・接遇に要する経費を切り出してお示ししたことはありませんが、丁寧な説明を尽くすという観点に加え、これまでの各国からの連絡状況を踏まえ、一定の仮定を置いた上で行った試算として、警備費として約8億円、接遇費として約6億円を要する見込みであることを明らかにしました。

○ 現時点で見込まれる経費は、これらの経費以外にはないと考えています。

○ 今回の国葬儀に要した経費については、事後できる限り速やかに精査し、お示ししたいと考えています。

3. 旧統一教会との関係について

○ 自民党の調査にかかわることについて、政府の立場からお答えすることは差し控えたいと思います。

○ なお、閣僚等については、「旧統一教会との関係については、総理から、各閣僚等に対し、それぞれ点検し、厳正に見直すことを指示しているところであり、その結果については、それぞれの政治家としての責任において、適切に説明すべきものと考えている」旨、官房長官からも述べているところと承知しています。

以上、回答いたします。

【別紙 28】

故安倍晋三国葬儀 葬儀実行幹事会
議 事 次 第

日 時：令和4年9月21日（水）
14：00～
場 所：総理大臣官邸小ホール（2階）

【議事】

- ・開会
- ・首席幹事挨拶
- ・資料説明、質疑応答
- ・閉会

（配布資料）

資 料 1 「故安倍晋三国葬儀 一般献花」実施要領（案）

「故安倍晋三国葬儀 一般献花」実施要領（案）

令和 4 年 9 月 日
故安倍晋三国葬儀
葬儀実行幹事会決定

1. 日時・場所

- ・ 令和 4 年 9 月 27 日（火）午前 10 時から午後 4 時まで
- ・ 千代田区九段坂公園（千代田区九段南 2-2-18）

2. 実施内容

- ・ 九段坂公園に献花台を 2 台（1 台で同時に 10 人が献花可能）設置する。
- ・ 献花台には花のみを献花することができることとし、献花用の花は各自で用意いただく。
- ・ 献花前に手荷物検査を実施する（手荷物検査場は千鳥ヶ淵緑道ポート乗り場付近）。

3. 会場周辺の立入制限と来場方法

- ・ 当日は、九段坂公園及び千鳥ヶ淵緑道周辺について、献花者以外の立入りを制限する。
- ・ 献花者は、墓苑入口交差点から千鳥ヶ淵緑道に入り、手荷物検査を受けた後、献花台に向かうこととする。

4. 荒天の場合の措置

- ・ 台風、雷雨等の場合には、一般献花を中止することがある。

5. 一般献花に係る周知

- ・ 立入制限の時間、来場方法、注意事項など、一般献花の実施について、ホームページ等で周知する。

【別紙 29】

故安倍晋三国葬儀 葬儀実行幹事会 議事概要

日 時：令和4年9月21日（水）14：00～

場 所：総理大臣官邸小ホール（2階）

（原内閣府大臣官房長）

開会

（森総理大臣補佐官）

- 本日の幹事会では、一般献花の実施要領について御確認いただきたい。会議終了後に内容を公表し、国民の方々にお知らせしたい。
- また、前回の会議でもお伝えしたが、通常国旗を掲揚している官署における弔旗の掲揚と、国葬儀当日、各府省部内において黙とうが行われるよう周知をお願いしたい。
- 国葬儀の開催まで1週間を切った。厳肅かつ心のこもった国葬儀となるよう、各府省一丸となって、最後まで細心の注意を払って、準備を進めていただきたい。

（原内閣府大臣官房審議官）

資料1について説明

（警察庁警備局長）

- 警察としては、参列者の安全と当該行事の円滑な進行を確保するため、警備に万全を期す所存。これに伴い、日本武道館や迎賓館周辺を中心とした交通規制が行われる見込み。
- 既に警察庁から関係省庁に対して警備に係る協力についてお願いしている。引き続き連携しながら、警備諸対策を強力に推進してまいりたい。

（宮内庁長官官房審議官）

- 故安倍晋三国葬儀に際し、天皇・皇后両陛下には勅使及び皇后宮使を差し遣わされ、また上皇・上皇后両陛下には、上皇使及び上皇后宮使を差し遣わされる。また皇族殿下七方、秋篠宮皇嗣同妃両殿下、佳子内親王殿下、寛仁親王妃殿下、彬子女王殿下、高円宮妃殿下、承子女王殿下の七方が御参列になる予定。

(外務省儀典長)

- 海外要人等の参列に関しては、回答が集まりつつあり、現時点で、190以上の代表団の参列を見込んでいる。
- 海外要人等の間では、国葬儀当日の夕刻に、岸田総理等が迎賓館で挨拶を交わす機会を予定しているほか、総理及び外務大臣を始めとして多くのバイ会談が実施される予定。
- 各国からの敬意と弔意に対し日本国として、礼節をもってお答えするとともに、国葬儀の機会に訪日される数多くの海外要人と可能な限り会談を実施し、安倍元総理が培われた外交的遺産を我が国としてしっかり受け継ぎ発展させるという意思を内外に示すべく、引き続き準備を進めていく。

(防衛省大臣官房長)

- 自衛隊の儀礼については、9月13日の閣議において「儀じょう・と列・弔砲及び奏楽」を行うことが了解され、現在関係部局等と連携をとりつつ準備しているところ。
- 具体的には、御遺骨が御自宅前を出発される際における「儀じょう」、御遺骨が葬儀場に向かわれる途上における「と列」、御遺骨が葬儀場に到着された際の玄関前における「儀じょう・奏楽及び弔砲」、葬儀中の葬儀場内における「儀じょう及び奏楽」、御遺骨が葬儀場を離去される際の葬儀場内の「と列」、玄関前における「儀じょう及び奏楽」、現在これらの準備をしているところであり、合計で約1390名の隊員が参加する予定。

(原内閣府大臣官房長)

- 一般献花の実施要領について、葬儀実行幹事会決定とし、本会議終了後、速やかに公表する。

(以上)

【別紙 30】

故安倍晋三国葬儀次第

日時：令和4年9月27日（火）午後2時

場所：日本武道館

- 一 御遺骨式場到着
- 一 開式の辞 葬儀副委員長（内閣官房長官）
- 一 国歌演奏
- 一 黙とう
- 一 生前のお姿の映写
- 一 追悼の辞 葬儀委員長（内閣総理大臣） 岸田 文雄
衆議院議長 細田 博之
参議院議長 尾辻 秀久
最高裁判所長官 戸倉 三郎
友人代表 菅 義偉
- 一 勅使・皇后宮使御拝礼
- 一 上皇使・上皇后宮使御拝礼
- 一 御供花 秋篠宮皇嗣同妃両殿下
佳子内親王殿下
寛仁親王妃信子殿下
彬子女王殿下
憲仁親王妃久子殿下
承子女王殿下

- 一 献花
 - 葬儀委員長
 - 喪主
 - 御遺族
 - 衆議院議長
 - 参議院議長
 - 最高裁判所長官
 - 友人代表及び令夫人
 - 元内閣総理大臣及び令夫人
 - 元衆議院議長・元参議院議長、前最高裁判所長官
 - 海外からの参列者
 - 葬儀副委員長
 - 各党代表
 - 衆議院副議長・参議院副議長
 - 国務大臣（葬儀委員）
 - 最高裁判所判事
 - 内閣官房副長官、内閣法制局長官、副大臣、大臣政務官
 - 衆議院・参議院の役員 等

- 一 御遺骨お見送り

【別紙 31】

故安倍晋三国葬儀当日の動き

- 午前 9 時 25 分
国葬儀場において約 1 時間にわたって総合リハーサルが行われた。
- 午後 1 時頃
松野葬儀副委員長は、故安倍元内閣総理大臣の御遺骨お迎えのため、安倍邸に参邸(田和葬儀委員及び係員が先着)した。
- 午後 1 時 25 分
海上自衛隊儀じょう隊 18 名が「着剣捧げ銃」敬礼を行う中、御遺骨は喪主安倍昭恵氏、御遺族とともに安倍邸を出発し、防衛省経由で国葬儀場である日本武道館に向かった。
- 午後 1 時 55 分
陸上・海上・航空各自衛隊員及び防衛大学校、防衛医科大学校各学生がと列、敬礼する中を、御遺骨は国葬儀場正面(西口)に到着した。正面玄関では、岸田葬儀委員長、森葬儀委員等の出迎えを受け、陸上自衛隊儀じょう隊による「着剣捧げ銃」の敬礼に合わせ、陸上自衛隊中央音楽隊が「悲しみの譜」を演奏するとともに、第 1 特科隊が弔砲 19 発を発射する中、儀じょう隊長の先行、葬儀委員長の先導により、静かに国葬儀場に入場した。
- その後、御遺骨は、陸上自衛隊中央音楽隊が「慰安する」を演奏する中、式壇前で喪主安倍昭恵氏から岸田葬儀委員長に手渡され、次いで、葬儀委員長から儀じょう隊長を経て柩警衛隊員により式壇の御遺骨安置所に安置された。
- 国葬儀場には、勅使(松永侍従)、皇后宮使(池田侍従)、上皇使(岩井上皇侍従)、上皇后宮使(岡上皇侍従)、秋篠宮皇嗣同妃両殿下、(秋篠宮)佳子内親王妃殿下、(三笠宮)寛仁親王妃信子殿下、(三笠宮)彬子女王殿下、(高円宮)憲仁親王妃久子殿下及び(高円宮)承子女王殿下が御臨席になり、ヨルダン・ハシェミット王国国王を始めとする 217 の国・地域・国際機関等からの参列者 734 名を含め、各界各層の代表の方々を合わせて 4,170 名が参列した。

- 午後 2 時 12 分
松野葬儀副委員長の「開式の辞」に始まり、陸上・海上・航空各自衛隊の音楽隊による国歌演奏が行われた。
- 午後 2 時 16 分
陸上自衛隊儀じょう隊による「着剣捧げ銃」の敬礼に合わせ、陸上自衛隊中央音楽隊が「国の鎮め」を演奏する中、参列者全員が故人に対し 1 分間の黙とうを捧げた。
- 黙とうが終了し、儀じょう隊の退場に合わせて場内が暗転し、故安倍晋三元内閣総理大臣の生前のお姿が約 8 分間再現され、故人が弾く、東日本大震災からの復興支援ソング「花は咲く」のピアノの音声とともに、在りし日のお声が場内に流れた。
- 午後 2 時 36 分
岸田葬儀委員長、細田衆議院議長、尾辻参議院議長、戸倉最高裁判所長官及び友人代表の菅義偉氏が追悼の辞を述べられた。
- 午後 3 時 2 分
勅使(松永侍従)、皇后宮使(池田侍従)の御拝礼があり、御拝礼の後には、木原葬儀委員の先導により御退場になった。続いて、上皇使(岩井上皇侍従)、上皇后宮使(岡上皇侍従)の御拝礼があり、御拝礼の後には、磯崎葬儀委員の先導により御退場になった。続いて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下、(秋篠宮)佳子内親王殿下、(三笠宮)寛仁親王妃信子殿下、(三笠宮)彬子女王殿下、(高円宮)憲仁親王妃久子殿下及び(高円宮)承子女王殿下の御供花があり、栗生葬儀委員始め皇族各殿下の先導役の葬儀委員の先導により御退場になった。
- この後、岸田葬儀委員長の献花を始めとして、喪主安倍昭恵氏、御遺族の安倍寛信御夫妻、岸信夫御夫妻、岸信千世氏、岸智弘氏の献花が続き、細田衆議院議長、尾辻参議院議長、戸倉最高裁判所長官、友人代表の菅義偉御夫妻の献花が行われた。
- 次に、歴代内閣総理大臣として森喜朗氏、小泉純一郎氏、福田康夫氏、麻生太郎氏御夫妻、野田佳彦氏の献花が行われ、次いで、歴代衆

議院議長として伊吹文明氏、大島理森氏、歴代参議院議長として扇千景氏、山崎正昭氏、伊達忠一氏、山東昭子氏、前最高裁判所長官の大谷直人氏の献花が行われた。

- 続いて、海外からの参列者の献花が行われ、次いで、駐日大使、駐日国際機関代表等の献花が行われた。
- その後、葬儀副委員長、各党代表、衆議院副議長及び参議院副議長、国務大臣、最高裁判所判事等のアリーナ席参列者、1階席、2階席、3階席の参列者による献花が行われた。
- 献花終了後、葬儀委員長等が移動し、所定の位置に整列した。御遺骨は岸田葬儀委員長及び喪主等が見守る中、式壇への安置とは逆の順序で、式壇から喪主安倍昭恵氏に手渡され、海上自衛隊東京音楽隊が「花は咲く」を演奏する中、と列隊(陸上・海上・航空各自衛隊員100名)がお見送りする中を退場された。
- 午後6時13分
国葬儀場正面において、陸上自衛隊儀じょう隊による「着剣捧げ銃」の敬礼に合わせて、陸上自衛隊中央音楽隊が「悲しみの譜」を演奏し陸上自衛隊儀じょう隊の弔銃三斉射が響く中、静かに国葬儀場を出発し、御自宅に向かわれた。
なお、岸田葬儀委員長、松野葬儀副委員長及び喪主安倍昭恵氏は、国葬儀後に迎賓館で行われた海外からの参列者との挨拶に出席した。
- 国葬儀会場の日本武道館近くの九段坂公園で実施した一般献花は、午前10時開始予定であったところ9時28分に繰り上げて開始、また、終了時刻も午後7時過ぎまで延長し、献花者は25,889名であった。

【別紙 32】

国葬儀を終えて（所感）

本日、14 時より、日本武道館において、故安倍晋三元内閣総理大臣の国葬儀を執り行いました。

去る 7 月 8 日、民主主義の根幹たる選挙が行われている中、卑劣な暴力により命を落とされた安倍元総理に対し、改めて、衷心より哀悼の誠をささげます。

本日の国葬儀には、現・元三権の長、政党代表、現・元国会議員、都道府県知事、各界の代表などから多数の参列がありました。また、海外からも、世界中から代表団が駆け付けて下さり、多くの要人が参列されました。

皆様のご理解・ご協力のおかげで、本日、こうした多くの方々の弔意に応える厳粛かつ心のこもった国葬儀を無事に執り行うことができました。また、海外からの多くの参列者の弔意にも、礼節をもってお応えすることができました。心より御礼を申し上げます。

令和 4 年 9 月 2 7 日

故安倍晋三国葬儀 葬儀実行幹事会首席幹事
森 昌文

【別紙 33】

故安倍晋三国葬儀を終えての所感等についての岸田総理記者会見
(令和4年9月29日) (抄)

(故安倍晋三国葬儀を終えての所感について)

一昨日、海外からの来賓を含め、4,183人の方に参列いただき、国葬儀を滞りなく執り行い、厳粛かつ心のこもった形で安倍元総理をお送りすることができました。今はただ、安倍元総理に安らかにお休みいただきたいということを申し上げたいと思っています。一般の方々からの献花は、千鳥ヶ淵に設置された献花台だけでも2万5,000人を超えました。多くの皆様から安倍元総理に対する感謝の念と不慮の死を悼む真心が広く示されました。国葬儀の葬儀委員長として、改めて感謝を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。今回、国葬儀には在京大使館を含め217の国と地域から首脳級・国家元首級48人を含め700人を超える来賓をお迎えいたしました。私自身、38回計42人の海外要人と個別会談を行うとともに、参列いただいた各国代表に直接感謝を申し上げる場を作るなど、世界各国から示された弔意に対して礼節をもってお応えをするよう、時間の許す限り最大限の対応を行いました。会談相手からは、世界的にも傑出したリーダーであり、その功績をたたえたいといった、安倍元総理の数々の業績をたたえ、故人をしのぶお言葉を数多く頂きました。私からは安倍元総理の残した外交的遺産をしっかりと受け継ぎ、強固な日米関係、自由で開かれたインド太平洋、法の支配による国際秩序の維持・強化など、日本外交の基軸をぶれずに貫いていくことを強調いたしました。あわせて最近の国際情勢など、多角的な意見交換の場ともなりました。安倍元総理の国葬儀は無事終わりましたが、国民の皆様から様々な御意見、御批判を頂いたことは真摯

に受け止め、今後にかかしていきたいと考えております。これから年末にかけ、臨時国会、予算編成などが続きます。改めて気持ちを引き締め、山積する我が国の課題に対応するため、各種政策を進めてまいります。

(国葬儀実施後の検証をどのように進めていく考えかについて)

今後の議論に資するためにも記録を残しておくことは重要であり、先日、国会でも申し上げたように、今回の国葬儀の実施について検証を行うことといたします。まずは、幅広い有識者の方々から意見を伺い、国葬儀について論点と意見を整理するところから始めます。早急にその整理をお示しできるような作業を進めます。その上で、国民のより幅広い理解を得て、国葬儀を執り行うにはどうしたらよいか、適切な金額や規模はどうかなど、今後の国葬儀の在り方について国民各層の御議論を踏まえて、幅広い御理解をいただいていくことができるよう、必要な検討を行ってまいりたいと考えています。

(今回の国葬儀でかかった費用について今後どのように説明する考えかについて)

国葬儀の費用につきましては、式典自体の経費のほか、実施に伴い必要となる接遇費あるいは警備費、こうしたものについても既定予算で対応する中で、一定の仮定を置いた上で見込みの額を事前にお示しをしてきました。国葬儀が終了したことから、実際に要した経費の速報値については速やかに取りまとめてお示ししたいと考えています。そしてその後も、所要の手續等が終了した時点で、概数値ですとか確定値について明らかにしていきたいと考えております。

【別紙 34】

故安倍晋三国葬儀に要した経費について

(速報値)

令和4年10月14日
故安倍晋三国葬儀
事務局
警察庁
外務省
防衛省

- 令和4年9月27日の故安倍晋三国葬儀に要した経費の速報値については、以下の通り。これは、国葬儀の経費の全体像を示すため、取り急ぎとりまとめたものであり、正規の決算手続きを経たものではなく、今後の精査により、計数の異動がありうる。(※【】は8月26日に閣議決定した予備費、【】は9月6日に松野内閣官房長官が公表したもの)

【式典等に要した経費（内閣府）】（2.4億円）【2.49億円】

(内訳)

- ・ 企画・演出及び警備等の経費（1.9億円）
- ・ 日本武道館の借り上げ経費等（0.5億円）

【警備に要した経費（警察庁）】（4.8億円）【8億円程度】

(内訳)

- ・ 道府県警察からの派遣のための旅費等の部隊活動や超過勤務手当に係る経費（2.6億円）
- ・ 車両等の装備資機材や待機所の借上げ等の装備費（2.2億円）

【接遇に要した経費（外務省）】（5.1億円）【6億円程度】

（内訳）

- ・ 海外要人の本邦滞在中の車両の手配や空港での受け入れ体制の構築等の庁費（4.5億円）
- ・ 接遇要員となる在外の外務省職員を往復させるための旅費（0.6億円）

【儀じょう等に要した経費（防衛省）】（0.1億円）【0.1億円程度】

- ・ 自衛隊の儀じょう隊等の車両借上げ費等（0.1億円）

【合計】（12億円台半ば）【1.7億円程度】

【別紙 35】

故安倍晋三国葬儀に要した経費について

(概数値)

令和4年12月22日
故安倍晋三国葬儀
事務局
警察庁
外務省
防衛省

- 令和4年9月27日の故安倍晋三国葬儀に要した経費の概数値については、以下のとおり。これは、正規の決算等の手続を経たものではなく、計数の異動があり得る。

(※ [] は令和4年10月14日に公表した速報値。)

【式典等に要した経費 (内閣府)】

(232,613 千円)

(2.3 億円) [2.4 億円]

(内訳)

- ・ 企画・演出及び警備等の経費

(193,600 千円)

(1.9 億円) [1.9 億円]

- ・ 日本武道館の借り上げ経費等

(39,013 千円)

(0.4 億円) [0.5 億円]

【警備に要した経費（警察庁）】

(475,065 千円)

(4.8 億円) [4.8 億円]

(内訳)

- ・ 道府県警察からの派遣のための旅費等の部隊活動や超過勤務手当に係る経費

(255,089 千円)

(2.6 億円) [2.6 億円]

- － 都道府県警察の警察官の日当、宿泊費等

(115,623 千円)

(1.2 億円) [1.2 億円]

- － 都道府県警察の警察官の超過勤務手当補助金

(139,465 千円)

(1.4 億円) [1.4 億円]

- ・ 車両等の装備資機材や待機所の借上げ等の装備費

(219,976 千円)

(2.2 億円) [2.2 億円]

- － 警備に従事する部隊の移動のためのマイクロバスや資機材を現場に輸送するための貨物自動車等の車両等の装備資機材の借上げ費等

(159,158 千円)

(1.6 億円) [1.6 億円]

- － 警戒警備を行う場所に設置する臨時の指揮所や警察官の待機所の借上げ費等

(60,818 千円)

(0.6 億円) [0.6 億円]

【接遇に要した経費（外務省）】

(484,573 千円)

(4.8 億円) [5.1 億円]

(内訳)

- ・ 海外要人の本邦滞在中の車両の手配や空港での受け入れ体制の構築等の庁費

(432,222 千円)

(4.3 億円) [4.5 億円]

- － 本邦滞在中の海外要人の車両の手配等、移動の経費

(162,270 千円)

(1.6 億円) [1.6 億円]

- － 本邦に滞在中の海外要人との連絡・調整体制の構築の経費

(120,942 千円)

(1.2 億円) [1.4 億円]

- － 連絡室の設置を含めた空港での受け入れ体制の構築の経費

(97,627 千円)

(1.0 億円) [1.0 億円]

- － 同時通訳等のバイ会談関連等、その他経費

(51,383 千円)

(0.5 億円) [0.5 億円]

- ・ 接遇要員となる在外の外務省職員を往復させるための旅費

(52,350 千円)

(0.5 億円) [0.6 億円]

【儀じょう等に要した経費（防衛省）】

(7,081 千円)

(0.1 億円) [0.1 億円]

・ 自衛隊の儀じょう隊等の車両借上げ費等

(7,081 千円)

(0.1 億円) [0.1 億円]

【合計】

(1,199,332 千円)

(12.0 億円) [12 億円台半ば]

※府省庁ごとの千円単位の経費の概数値（合計）を単純に合計したもの